

第二次の特定外来生物に選定することが適切と考えられる外来生物(昆虫類等陸生節足動物)に係る評価の理由(案)

昆虫類等陸生節足動物

特定外来生物の指定対象とすることが適切である外来生物	被害の概要	評価の理由
コカミアリ	捕食、競合駆逐	・高い採餌能力と攻撃性による他種のアリとの競合・駆逐、捕食等による他の動物への影響が海外で知られており、日本に侵入すれば生態系に大きな被害をもたらすおそれがある。
アシナガキアリ	捕食、競合駆逐	・海外では高い採餌能力と攻撃性による他種のアリとの競合・駆逐、捕食等による他の動物への影響が知られている。日本でもすでに南西諸島に定着しており、在来の無脊椎動物に捕食や競合により大きな影響を及ぼすおそれがある。
ツヤオオズアリ	捕食、競合駆逐	・高い採餌能力と攻撃性による他種のアリとの競合・駆逐、捕食等による他の動物への影響が海外で知られている。日本でもすでに南西諸島に定着しており、在来の無脊椎動物に捕食や競合により大きな影響を及ぼすおそれがある。
テナガコガネ属	競合駆逐、遺伝的攪乱	・日本にまだ定着していないが、侵入して定着すれば、生息場所である樹洞や餌となる腐植質をめぐる競合により、在来種で絶滅のおそれのあるヤンバルテナガコガネを絶滅させるおそれがある。また、遺伝的攪乱の可能性も懸念される。